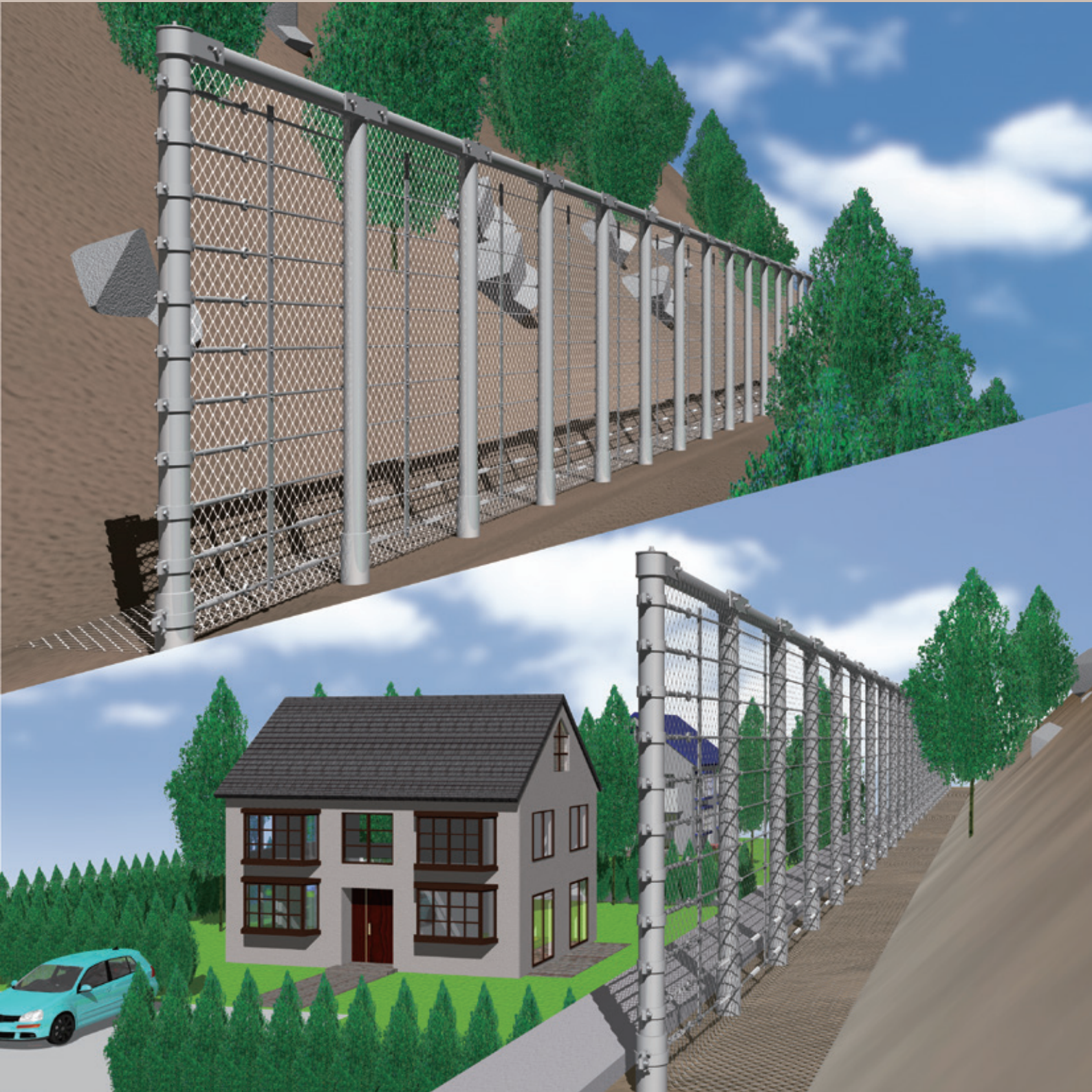


アズガードフェンス

軽量な部材で土砂を捕捉
小規模崩壊に対応した崩壊土砂防護柵



ASGuard Fence

§ アズガードフェンス主な特徴

Anywhere

大型重機が不要で
崩壊土砂防護柵が
設置可能。

Split

支柱と鋼管杭が
上下分割式。
狭小地への運搬がし易い。

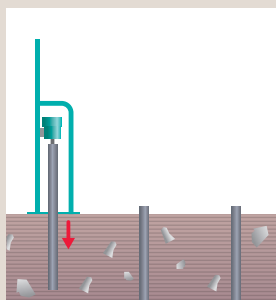
Guard

土砂だけでなく
落石も(200kJ)捕捉でき、
積雪にも対応可能。



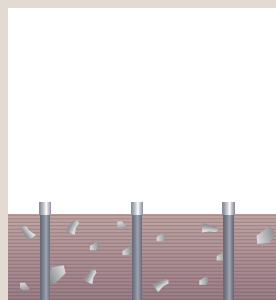
AGF 施工手順

1. 鋼管杭設置



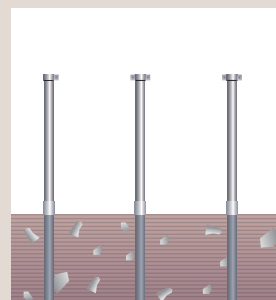
支柱設置位置に
フィードをセットし、
エアハンマーにて鋼
管杭を設置します。

2. パイプカプラー設置



パイプカプラーを鋼
管杭頭部に取り付け
ます。

3. 支柱組立・建込



内管を支柱に挿入し、
頭部を固定ボルトにて
一体化します。



崩壊土砂の捕捉性能検証

[実験条件]

斜面高さ	H=26m	柵高	H=3.0m
斜面勾配	$\theta u=48^\circ$	延長	L=14m (2.0m×7)
流下土砂量	V=50.0m ³ ×3回		



実験状況



土砂捕捉

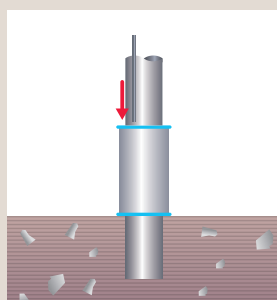
落石の捕捉性能検証 【落石対策便覧に準拠】

[実験条件]

衝突エネルギー	227kJ	柵高	H=3.0m
衝突速度	25.7m/sec	延長	L=9.0m (3.0m×3)
重錘重量	0.69t		

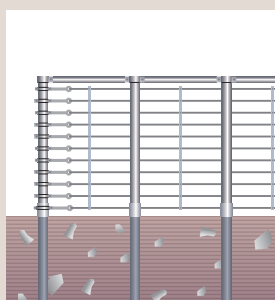


4. 接続部締結・漏れ防止処理



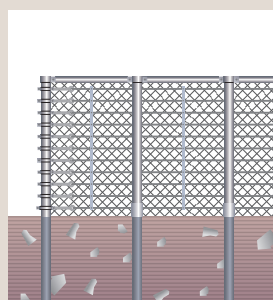
パイプカプラーと支柱の間にスペーサーロッドを挿入し、パイプカプラーの上下の隙間をコーキング等でセメントミルクの漏れ防止処理を行います。

5. サポート・ワイヤロープ・間隔保持材取付



横ロープを設置延長に合わせて展開し、サポート・間隔保持材を設置します。

6. 金網・補助金網取付



金網を設置延長に合わせて展開し、裾部に補助金網を設置します。

崩壊土砂および落石仕様

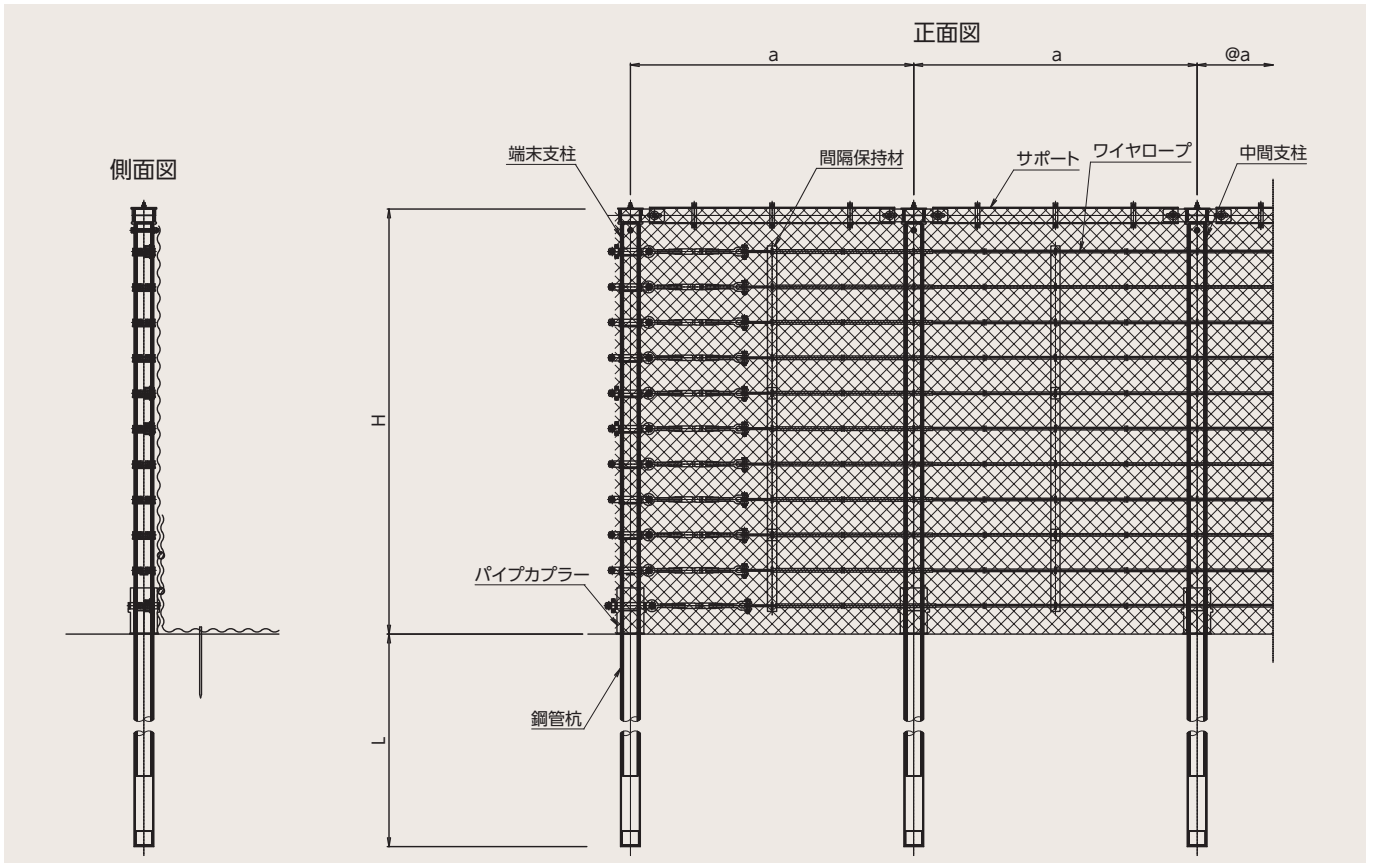
型式	柵高 (m)	横ロープ 使用・本数	金網 (mm)	支柱間隔 (m)	部材断面			対応落石 エネルギー
					中間・端末支柱	サポート	間隔保持材	
AGF-25-E	2.5	9	3.2φ×25×25	2.0～	139.8φ×6.0	114.3φ×4.5	4.5t×65	100kJ
AGF-30-E	3.0	11						
AGF-35-E	3.5	13						
AGF-40-E	4.0	15						

落石仕様

型式	柵高 (m)	横ロープ 使用・本数	金網 (mm)	支柱間隔 (m)	部材断面			対応落石 エネルギー
					中間・端末支柱	サポート	間隔保持材	
AGF-25-200	2.5	9	4.0φ×50×50	3.0～6.0	139.8φ×6.0	114.3φ×4.5	4.5t×65	200kJ
AGF-30-200	3.0	11						
AGF-35-200	3.5	13						
AGF-40-200	4.0	15						

※上記の柵高以外もお問合わせください。

構造図



 東京製綱株式会社

本社 エンジニアリング事業部

〒135-8306 東京都江東区永代2-37-28(湊澤シティプレイス永代)

TEL.(03)6366-7788 FAX.(03)3643-7550

支店●札幌・盛岡・仙台・名古屋・大阪・九州 営業所●新潟・長野・広島・鹿児島

エンジニアリングセンター●東日本・関西・北九州

<https://www.tokyorope.co.jp>

●代理店

支店・営業所の詳細

<https://www.tokyorope.co.jp/company/office.html>

